








# 不整脈に対するデバイス植え込み術クリニカルパス

様

No.1

	手術前日 /	手術当日 /	術後1日目 /	術後2日目 /	術後3日目 /	術後4日目 /	術後5日目(パス終了日) /
観察	モニターを装着し脈拍の確認を行います。	手術後、熱の有無・傷の出血・痛み・腫れを観察していきます 術後モニター装着をし脈拍の異常の有無を観察してきます					
安静	医師の指示に従ってください	医師の指示に従ってください (鼠径部からカテーテル挿入時帰宅後2時間は絶対安静です)	患肢は手術後肩より上に手を挙げることはできません(手術後約3か月間は挙上できません)				
食事	心疾患食 (塩分1日6g未満)	当日の食事については看護師から前日に説明があります	心疾患食 (塩分1日6g未満) 				
清潔	シャワー浴ができます	洗面のみ可能です	体をふくことができます	 シャワー浴を行う事ができます(入浴は術後1週間後からできます)			
排泄	病棟トイレに行くことができます 	病棟トイレで排泄できます 鼠径部からカテーテル挿入の場合帰宅後2時間は床上で便器・尿器の使用となります	病棟トイレに行くことができます 				
処置 診察	手術後の感染予防のため前胸部・鼠径の除毛します	鼠径部からカテーテル挿入した場合、医師が穿刺した場所の観察・消毒を行います	医師が圧迫ガーゼを外します ペースメーカー/除細動器の作動状況を確認します	ペースメーカー/除細動器の作動状況を確認します			観察が必要であれば継続して心電図モニターをつけます
		 入院後より心電図モニターをつけます					
検査	心電図・レントゲン検査を行う場合があります	手術後レントゲン撮影します			採血・心電図・レントゲンを行う場合があります		
薬物療法	点滴	補液と抗生剤の点滴をします 必要な際には手術中に鎮静剤を使います ※感染予防の為に抗生剤の点滴を1日2回行います。					
	内服	持参薬を提出してください ※中止薬がある場合はお知らせします	利尿剤/降血糖薬/インスリンがある場合医師の指示に従ってください ※傷の痛みがある時の鎮痛剤については医師・看護師に確認してください				
説明 指導	病棟内の御案内をします	※手術へ行く前に以下のものを外します	自己脈測定の指導を患者様・御家族の方に行います(退院後も1日1回1分間、自己脈測定を安静時に実施してください) 創部の観察を行います(発赤・腫脹・熱感・創痛・膿の有無)				
	医師・看護師が手術について説明をします	眼鏡・コンタクト・時計・ピアス義歯・指輪・化粧品・ネックレス・ヘアピン・靴下・マニキュア・補聴器	・退院後の注意点についてペースメーカーパンフレットを用いて患者様・御家族の方に説明を行います(携帯電話の使用方法、体脂肪測定のできる体重計の使用、家電製品のIH調理器具、盗難防止の設備(EAS)ICカードの改札システム、スマートキーシステム、電気自動車の急速充電器等患者の生活に関係する内容の確認)				
	手術に必要な書類の確認をします	手術に行く前にトイレを済ませ病衣T字帯に着替えます	医療相談室への案内と対象者の方には遠隔モニタリングについて説明します				
	手術時の服装について説明をします	※手術中看護師も居ますいつでも声をかけてください	ペースメーカーを挿入した側の腕は術後約3ヶ月間は肩より上にあげないようにしてください。 				
	ペースメーカーパンフレットを渡します	手術後医師から手術結果について説明があります	退院後の内服薬について説明があります ペースメーカー手帳を渡します 退院療養計画書に沿って退院後の注意事項を説明します 				
目標	手術の方法・合併症が分かり不安なく手術に臨む事ができる	疼痛がコントロールされ合併症(感染・リードの外れ・断線)がない・脈拍の異常がない			脈拍の異常がない 自己脈測定ができ退院後の生活の注意点が分かる		ペースメーカーの作動状況に問題がなく合併症がみられない ペースメーカーパンフレットの内容が理解でき退院後の注意点が分かる